

【資料 1】

守口サービスセンターの再整備事業と
今後の進め方について

独立行政法人都市再生機構(UR)が一体的に整備した守口スポーツプラザ(守口サービスセンターと合築)の建物を現在解体中(平成29年度、30年度の2ヶ年で解体予定)。

解体後の跡地整備について、今後検討していく予定。検討は、公園の立地や地域のニーズを踏まえ、民間事業者の優れたアイデア・ノウハウなどの民間活力の活用も視野に進めていく。



I. ワーキング (WG) の目的

公園管理者や地域住民、運営事業者等が、守口地区の再整備に必要な機能や求められる役割などについて意見交換を行う場（ワーキング）を設け、今後の再整備計画の策定に向けたプラットフォームを構築する。また、具体的な意見交換を行うことにより、より利用者ニーズに合った施設整備や、持続可能な運営を見据えた仕組みづくりを踏まえた再整備計画（骨子）の立案を行う。

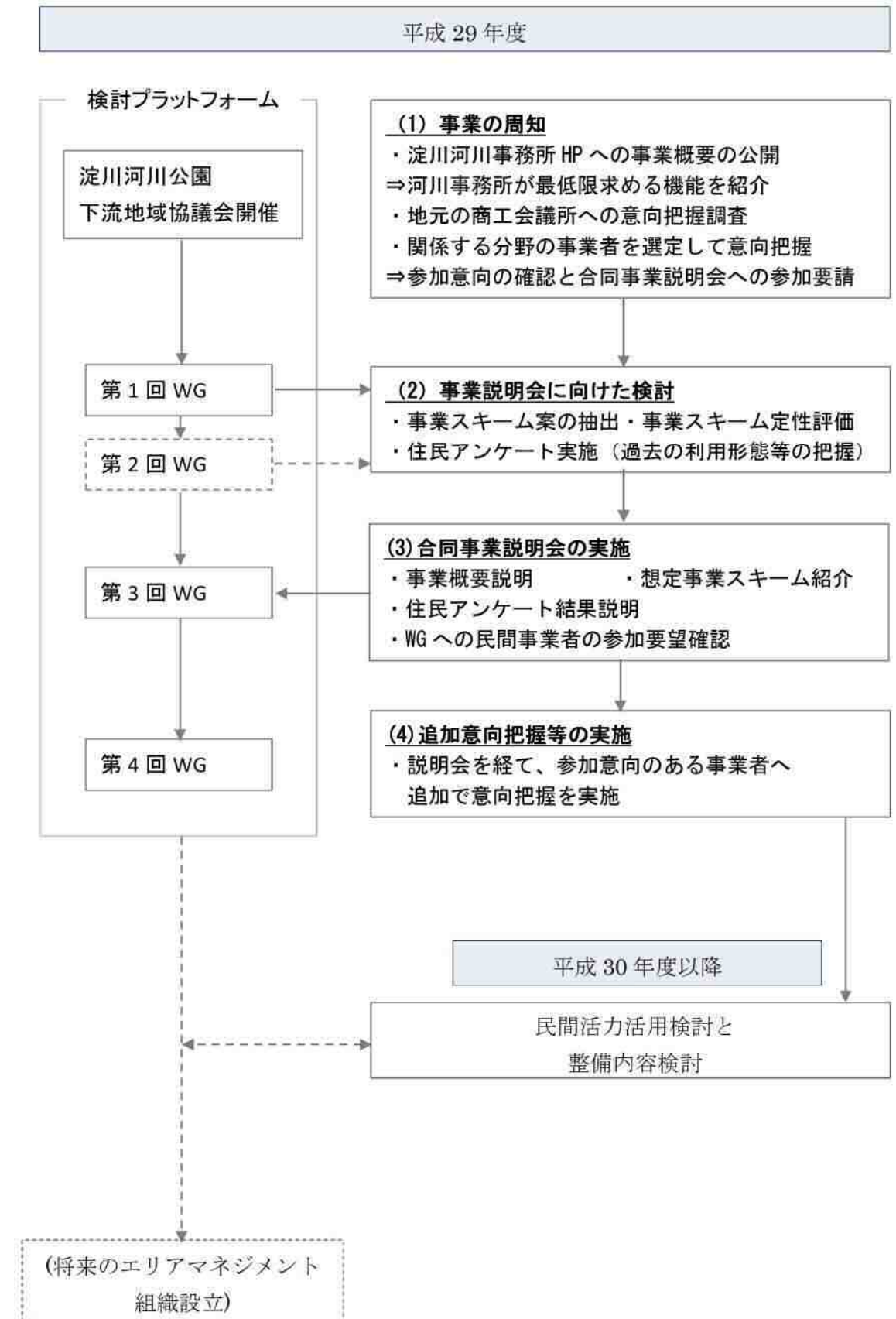
II. 参加メンバー（案）

- 公園管理者
- 公園利用者（淀川河川公園下流地域協議会メンバーから選出。連合自治会代表者等。）
- 守口門真商工会議所
- 守口市
- 市場調査により抽出された民間事業者
- その他関係者（学校関係者、近隣病院関係者等）

III. 議論テーマ・進め方

全4回の開催を予定する。各回の議論テーマ及び進め方を以下に整理する。

開催時期 (予定)	議論テーマ (案)	参加メンバー (案) (○は参加予定)					
		公園 管理者	公園 利用者 (自治会等)	守口門 真商工 会議所	守口市	民間 事業者	その他 関係者
下流地域協議会 8月下旬	再整備の進め方や方向性の理解 ・ 事業概要、WG立ち上げの説明 ・ 守口地区の目指す方向性について	○	○				
第1回 9月下旬	公園管理機能等の抽出 (その1) ・ 管理上最低限必要な機能の確認 ・ 今後検討が必要と思われる施設、機能等の洗い出し ・ 市場調査内容、調査項目等の確認	○	○	○	○		
(第2回) (10月下旬)	公園管理機能等の抽出 (その2) (※必要に応じて開催)	○	○	○	○		
第3回 12月上旬	事業の管理運営面からの機能見直し ※合同事業説明会で興味を持った企業の参加 ・ 市場調査結果や住民アンケート結果を踏まえた機能等の見直し、追加機能の検討	○	○	○	○	○	○
第4回 1月中旬	再整備計画 (骨子) の立案 ・ 意見交換内容のとりまとめ ・ 再整備計画立案に向けた導入機能等についての合意形成	○	○	○	○	○	○



【資料 2】

守口サービスセンターの目指す方向性について

守口地区を取り巻く状況

淀川河川公園の整備及び管理運営の基本方針(「淀川河川公園基本計画」平成20年8月より)

「河川は人を含むすべての生物にとって共有の財産であり、淀川における自然環境や歴史・文化、人との関わりを大切にしたい公園にする」という認識のもとで、淀川の自然環境や淀川と人との関わりを次世代に引き継ぐための公園づくりを目指す。

《整備方針》

- (1) ゾーニング計画を新たに定める
- (2) 淀川の自然環境の保全・再生を図る
- (3) 淀川らしい利用ができるようにする
- (4) 淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

《管理運営方針》

- (1) 淀川の自然環境の保全・再生に関する調査・分析と見直しを行う
- (2) 安全、快適に利用できるようにする
- (3) 淀川にふれ、学ぶための機会を増やす
- (4) 多様な主体の参加と連携を図る

国の動向

- 持続可能で活力ある国土・地域づくりの推進(出典:国土交通省HP 総合政策「持続可能で活力ある国土・地域づくり」の推進について)
人口減少、少子高齢化、財政制約、国際競争の激化に加え、地球環境問題や震災を契機としたエネルギー制約等を克服し、国の明るい将来を築く
- 都市公園法の改正(出典:国土交通省HP 都市局「都市緑地法等の一部を改正する法律が平成29年6月15日に施行されました」基礎資料 概要)
 - ・ 都市公園で保育所等の設置を可能に(国家戦略特区特例の一般措置化)
 - ・ 民間事業者による公共還元型の収益施設の設置管理制度の創設
 - ・ 公園内のPFI事業に係る設置管理許可期間の延伸(10年→30年)
 - ・ 公園の活性化に関する協議会の設置

- ・ 収益施設(カフェ、レストラン等)の設置(管理者を民間事業者から公募選定)
- ・ 設置管理許可期間の延伸(10年→20年)、建蔽率の緩和等
- ・ 民間事業者が広場設備等の公園リニューアルを併せて実施

守口地区に関する現状での位置付けや特性

- 淀川河川公園の管理窓口(守口サービスセンター)
- 淀川河川公園内のサービスセンターの中でも最も拠点性があり、重要な役割を担う
- 淀川河川公園(河川敷)は、野球・陸上・テニスコート等の運動施設が整備、草地地区やワンドによる自然環境も豊か
- 地区の周辺は住宅地や団地、総合病院(松下記念病院)が隣接。教育施設も多い
- 鉄道駅からのアクセスが良好(徒歩圏内)

社会的背景(少子高齢化、人口減少)を踏まえた公園のあり方

- 健康増進・予防の推進
- 高齢者世帯や単身世帯が増加する中でのコミュニティの形成
- 豊かな緑の中でやすらぎが実感できる生活環境の向上
- 生物多様性の富んだ、自然環境との共生
- 市民参加や協働による公園づくりや管理
- 民間ノウハウを活用した公共施設の整備や管理の必要性の高まり

守口市及び守口地区の歴史

- 守口市は大阪市に隣接し、商業・産業のまちとして繁栄
- 東海道五十七次の宿場町「守口宿」
- 過去におけるアイススケートリンクとしての利用や、軽食堂や売店等としての利用(守口サービスセンター)

上位計画等による守口地区の主な位置づけ

- 淀川を自然環境資源としての位置づけ、親水空間やスポーツ・レクリエーションの拠点(守口市第五次総合基本計画)
- 河川レンジャーの活動拠点(淀川水系河川整備計画)
- 淀川河川公園管理センターの本部機構として設置予定 (淀川河川公園基本計画)

守口地区再整備の基本的な考え方

淀川の河川環境や社会的背景、地域・地区特性、これまでの利用を踏まえ、従来の淀川河川公園の公園管理拠点・地域活動拠点として必要な機能を担保しながら、守口地区に相応しい新たな視点での機能を備えた地区の再整備を行っていきます。

守口地区周辺の歴史

舟運 淀川は、古くから京都と大阪、さらには瀬戸内海から日本海を経て東アジア各地へと結び、**人や物資の輸送、文化交流を支える交通路**として重要な役割を果たしてきた。

江戸時代、大阪が「天下の台所」としての役割を担うようになると、淀川が経済の大動脈となり舟運による輸送が活発に行われていた。

安藤広重の浮世絵にも描かれた三十石船などさまざまな種類の船が京都の伏見港から大阪天満の八軒家浜（現在の天満橋）の間を往来し、最盛期には約1400艘の船が運航していたという。



三十石船とくらわんか舟版画
安藤広重画

明治期に入り、川蒸気船が就航し、三十石船は姿を消していった。大正期に入ると、鉄道や道路の整備など陸上交通の発達により、川蒸気船も衰退。現在では、一部の船舶を除き、ほとんどがその姿を消している状況にある。

参考：淀川資料館HP (http://www.yodo-museum.go.jp/kikaku/kikaku06/kika6_a04.html)
枚方市HP (<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000000772.html>)

守口市内かつての舟運の様子

出典：淀川兩岸一覽1863年（文久3年）発行



守口駅 新川

佐太 天満宮



川蒸気船就航の様子

守口宿 江戸と大阪を結ぶ「東海道五十七次」最後の57番目の宿場

東海道は、一般的に江戸と京都を結ぶ、品川宿～大津宿の五十三次と呼ばれているが、伏見・淀・枚方（当時は枚方と記した）・守口の4宿場を含め、五十七次で江戸～大坂を結ぶ街道であった。

守口宿は、1616年(元和2年)に成立し、宿場は京街道(文祿堤)に沿って本陣、問屋、問屋場があった。大坂から2里（約8km）の近距離にあり、淀川舟運が発展したため、宿泊と交通量は少なかった。しかし、米などの農産物の集散地として重要な機能を果たし、商業活動は活発であった。



現在の守口宿本陣跡の様子



現在の文祿堤の様子

宿場通りには今でも伝統的は商家なども所々に残されていて、当時の面影をしのぶことができる。また豊臣秀吉が文祿6年(1569年)に淀川左岸を修築して作った文祿堤の京街道は、その多くは消滅してしまったが、宿場通の守口市本町に今でも往時の面影をとどめている。

参考：公益財団法人リバーフロント研究所(2002)：淀川の舟運利用について、機関紙「RIVER FRONT」, vol43, 14-17
京阪電車HP (http://www.okeihan.net/recommend/mizunomichi/michiannai06_06.php)

守口地区に求められる役割

- 社会資本としての都市公園は多様な機能を有しており、河川公園管理とその他9つの効果に分類される。（「都市公園のストック効果向上に向けた手引き（平成28年5月国交省）」参照）
- 守口地区に必要な効果について、淀川河川公園が関連する計画や現況特性から整理すると、「河川公園管理」「環境維持・改善、自然環境の保全・活用」「健康・レクリエーション空間提供」「コミュニティ形成」「観光振興」効果が求められていると考えられる。

ストック効果	淀川河川公園における役割		計画や現況特性からの必要性
河川公園管理	○河川公園の中心的な施設としての機能	◎	・従来のサービスセンターとして必要な効果、機能
	○河川レンジャー活動拠点		
	○淀川河川公園の情報発信機能		
環境維持・改善 自然環境の保全・活用	○都市部の生物多様性向上機能 ○都市部における環境の向上機能 ○自然とのふれあい機能	◎	・河川環境、地域の自然環境の向上として必要な機能
景観形成	○良好な景観形成による地域との調和やシンボリックな景観	○	・地区の整備において、環境との調和が必要
健康・レクリエーション空間提供	○多世代にわたる健康増進機能 ○余暇活動の場 ○憩いやすらぎの空間としての機能	◎	・地区イメージ継続 ・周辺の病院や河川公園の運動施設との機能充実を図るため必要
防災性向上	○防災倉庫としての機能 ○避難路としての機能 ○水害対応機能	○	・地域や地区を地震や水害等の災害から守るなど、地域の安全性向上として必要
文化伝承	○歴史的資源の保全・活用機能 ○文化的資源の保存・継承機能	-	・淀川では既存施設（淀川歴史資料館）がある
子育て・教育	○子育て支援機能	-	・子どもの体験学習は、河川公園管理機能で補完可能 ・保育施設は、地区内設置の必要性が不明確
コミュニティ形成	○多世代交流機能 ○地域住民、団体の交流・連携の機能	◎	・住宅地に位置すること、総合病院や小中学校等が点在していることなどから多世代交流ができる場が必要
観光振興	○地域の観光PR機能	◎	・案内機能は、河川公園管理機能で補完可能 ・イベント等のソフト対策は、河川公園管理機能で補完可能 ・守口宿や舟運など、守口の歴史を活用
	○河川の賑わいの再生・創出機能		
地域経済活性化	○イベント等の開催による地域経済を活性化機能	○	・イベント等のソフト対策は、河川公園管理機能で補完可能

守口地区の整備イメージ

淀川河川公園の整備の考え方

河川は人を含むすべての生物にとって共有の財産であり、淀川における自然環境や歴史・文化、人との関わりを大切にしたい公園にする

守口地区に求められる効果

「河川公園管理」「環境維持・改善、自然環境の保全・活用」「健康・レクリエーション空間提供」「コミュニティ形成」「観光振興」

河川公園としての機能

○親水性 ○生物多様性(自然、動植物) ○オープンスペース ○情報提供

社会的背景・歴史

○健康増進 ○コミュニティ形成 ○団地、病院が隣接 ○宿場町

淀川河川公園下流地域協議会
検討プラットフォーム
アンケート・市場調査

守口地区の再整備に関する導入機能(案)

求められる効果を具体的な導入機能(案)として整理しなおすと、以下6つのキーワードが抽出できる。

- 公園管理 : 公園として最低限必要な機能、ビジターセンター
(管理運営、情報提供、レンジャーの活動拠点など)
- 自然とのふれあい: 都市部であるが日常的に自然を身近に感じ、ふれあえる場
- 教育・研究 : 環境維持・改善に向けた啓発、知識習得の場
- 憩い・交流 : 住宅地に位置する公園としてより多くの人々が憩い、交流できる賑わいの場
- 健康・レクリエーション : 広域的な河川公園としてより多様な体験や活動に利用できる場
- 観光 : 守口宿や舟運等の守口の歴史を通して守口らしさを感じる場

【もの】の提供

・会議室 ・軽食、カフェ ・資料室 など

【こと】の提供

・イベント、プログラム ・セミナー
・自然環境の知識 など

【守口らしさ】の提供

・宿場町の雰囲気 ・多世代交流 など

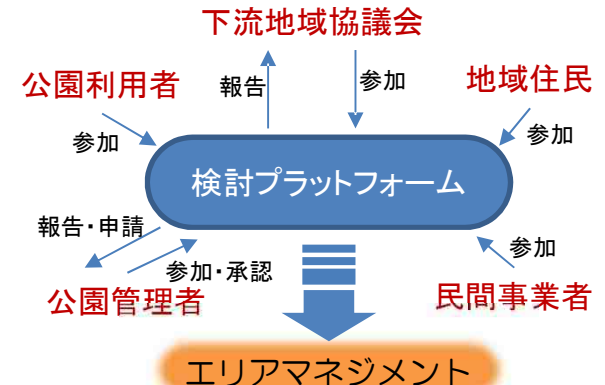
【組織の役割について】

淀川河川公園下流地域協議会

- ・ 淀川河川公園基本計画(平成20年8月改定)に基づき設置されている組織
- ・ 全4ブロック(上流、中流左岸、中流右岸、下流)に分かれ、地区ごとの特性に応じた協議が進められる
- ・ なお、上位組織として地域協議会の代表者が出席する「全体協議会」がある

検討プラットフォーム

- ・ 守口サービスセンターを核とした、守口地区周辺の利活用促進に向けた検討組織
- ・ 公園管理者、公園利用者(下流地域協議会メンバー含む)、運営者となり得る民間企業などが参加する「WG(ワーキング)」を開催し、管理運営等に関する話し合いを行う
- ・ 将来的には守口地区周辺を中心としたエリアマネジメント組織へと展開していく予定である



【資料 3】

海老江地区・大淀野草地区の
公園閉園等について

淀川左岸線(2期)および淀川南岸線の概要

【平成29年4月】

計画の概要

淀川左岸線(2期)は、政府の「都市再生プロジェクト」に位置付けられた『大阪都市再生環状道路』の一部を構成する自動車専用道路であり、広域幹線道路ネットワークの形成や都心北部地域での交通混雑緩和などを目的とした道路です。

また、淀川南岸線は、淀川左岸線(2期)などとあわせて整備を行う地域のサービス道路であり、生活の利便性の向上や防災性の向上に重要な役割を果たす路線となります。

淀川左岸線(2期)

- ・事業者: 大阪市・阪神高速道路株式会社 (合併施行方式)
- ・事業区間: 此花区高見1丁目～北区豊崎6丁目
- ・延長・幅員: 延長約4.3km、幅員約22m
- ・道路構造: 本体(地下構造)4車線、ランプ部(掘削・高架構造)、換気所 2ヶ所

淀川南岸線

- ・事業者: 大阪市
- ・事業区間: 福島区大開4丁目～北区長柄東3丁目
- ・延長・幅員: 延長約6.9km、幅員約12～31m
- ・道路構造: 国道2号東側) 車道2車線、歩道 国道2号西側) 車道4車線、歩道

- 淀川左岸線(2期)については平成38年度の事業完成を目指し、淀川左岸線(2期)と並行する淀川南岸線については、淀川左岸線(2期)と一体的に整備し、着実な事業進捗を図って参ります。

【大阪都市再生環状道路】

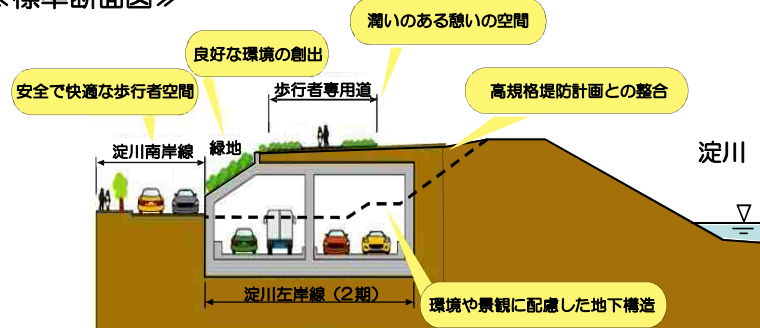
現在の大阪の高速道路は、市の中心部に位置する阪神高速道路の環状線から、放射状に周辺地域に延びるネットワークが形成されています。

そのため、周辺地域から他の地域に移動するだけの“通過交通”も市の中心部に集中することから、環状線などで慢性的な交通渋滞を引き起こし、周辺環境の悪化や、社会経済活動への影響が問題となっています。

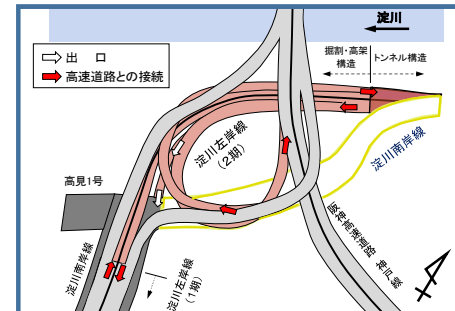
こうした問題を抜本的に改善するために計画されたのが「大阪都市再生環状道路」であり、大阪市中心部の外側を取り巻く、延長約60kmの自動車専用道路です。



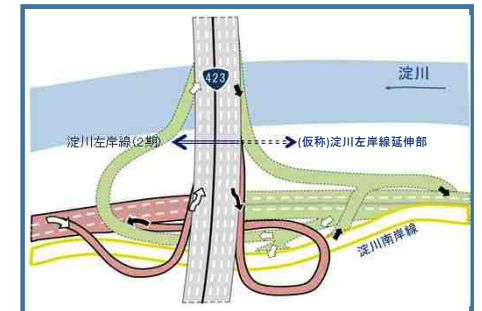
標準断面図



海老江JCT



豊崎出入口



【資料 4】

その他



近畿地方整備局 淀川河川事務所	配布日時	平成29年8月1日
		14時00分
資料配布		(大阪商工会議所 同時発表)

件名	「新しい」淀川の魅力づくり3年目のチャレンジ! ～ 淀川アーバンキャンプ2017開催～
----	--

概要	<p>淀川アーバンキャンプは、淀川河川事務所と大阪商工会議所が連携して、淀川の新たな賑わいづくりと魅力向上に向けて、2015年から実施しており、今年で3年目となります。</p> <p>今年は従来の秋頃のプログラムに加えて8月11日より、公募で選定された5者の事業者が、独自のアイデアを活かしたプログラム(演劇、飲食、アウトドアウエディング、クルーズ)を実施しますので、これまで以上に淀川の魅力を体験して頂きます。</p> <p>なお、従来の秋頃のプログラムは、コア期間イベントとして9/30～10/1、10/7～10/9に実施予定です。</p> <p>(開催期間) 平成29年8月11日(金・祝)～10月31日(火)</p> <p>(開催場所) 大阪市淀川区西中島他 淀川河川公園“西中島地区”及びその周辺他</p> <p>(アクセス) 阪急南方駅もしくは地下鉄西中島南方駅より徒歩7分</p> <p>※淀川アーバンキャンプの開催概要は資料1をご参照ください。 ※事前申込不要。入場無料。</p>
----	--

取り扱い	———
------	-----

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、 大阪経済記者クラブ
------	----------------------------------

問合せ先	<p>近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 岩崎 健 (内線 205) 河川環境課長 稲垣 茂人 (内線 361) 電話番号 072-843-2861</p> <p>大阪商工会議所 地域振興部 担当 登坂、小林 電話番号 06-6944-6323</p>
------	--

「淀川アーバンキャンプ2017」開催概要

1. 期 間 平成29年8月11日（金・祝）～10月31日（火）
※出店期間及び営業時間は事業者ごとに異なります。また、開催日についても変更の場合
がありますので、詳細は各事業者にご確認下さい。
2. 場 所 大阪市淀川区西中島他
淀川河川公園 西中島地区およびその周辺
※アクセス：阪急南方駅もしくは地下鉄西中島南方駅より徒歩7分
3. 主 催 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、大阪商工会議所
4. 趣 旨 広々とした淀川の河川空間を中心に、民間事業者が独自のアイデアを活かし、食と演劇等
のエンターテイメントが楽しめるプログラム、アウトドアウエディング、新たな BBQ サ
ービス、淀川と水都大阪・水の回廊を満喫できるクルーズなど、来訪者が淀川の魅力をよ
り深く、より快適に楽しむための様々なプログラムを実施し、賑わいの創出を図るととも
に、官民連携による賑わい創出に向けた、民間事業者の主体的な事業を受け入れる仕組み
づくりと、民間事業の継続可能性を検証します。
5. 内 容 ①パフォーマンスと楽しむナイトジギスカン（飲食とパフォーマンス）
②foodscape! River side Beer FESTIVAL（飲食物の販売）
③手ぶらBBQ（飲食）
④Happy Outdoor Wedding（アウトドアウエディング）
⑤osaka hotel（オオサカホテル）（クルーズ）
※実施日程、料金等の詳細は（資料2）をご参照ください。
下記HPでも同様のものが、ご覧になれます。
http://www2.kasen.or.jp/yodogawa_uc/file/YUC2017.pdf

6. アクセスと会場図



AREA MAP

- | | |
|---------------------------|--|
| ① パフォーマンスと楽しむ
ナイトジギスカン | ② foodscape!
River side Beer FESTIVAL |
| ③ 手ぶらBBQ | ④ Happy Outdoor Wedding |
| ⑤ osaka hotel (オオサカホテル) | |
- ※実施場所はプログラム詳細をご確認ください。



※⑤については、八軒屋浜船着場を発着地に、大阪市内～(毛馬閘門)～淀川を遊覧します。

YODOGAWA URBAN CAMP 2017

淀川アーバンキャンプ



「新しい」淀川の魅力づくり 3年目のチャレンジ!

淀川は都心部の近くにありながら、豊かな水辺の自然を感じられる場所。この魅力ある場を、市民の憩いの場、新たな大阪・関西の観光拠点として活性化していくため、今年も官民連携による新たな魅力づくりにチャレンジする社会実験「淀川アーバンキャンプ2017」を開催します。今年は、秋のコア期間イベントに加え、夏から秋の約80日間の期間に楽しめる長期型プログラムが加わり、これまで以上に、淀川の魅力を体感していただけます。



長期型プログラム

約80日間の期間、民間事業者が独自のアイデアを活かし、食と演劇等のエンターテインメントが楽しめるプログラムや、アウトドアウエディング、BBQ サービス、淀川と水都大阪・水の回廊を満喫できるクルーズなど、来訪者が淀川の魅力をより深く、より快適に楽しむための様々なプログラムを提供します。

2017年8月11日(金・祝) - 10月31日(火)

※プログラムの実施期間は各プログラムによって異なります。

場所：淀川河川公園 西中島エリアおよびその周辺

コア期間イベント

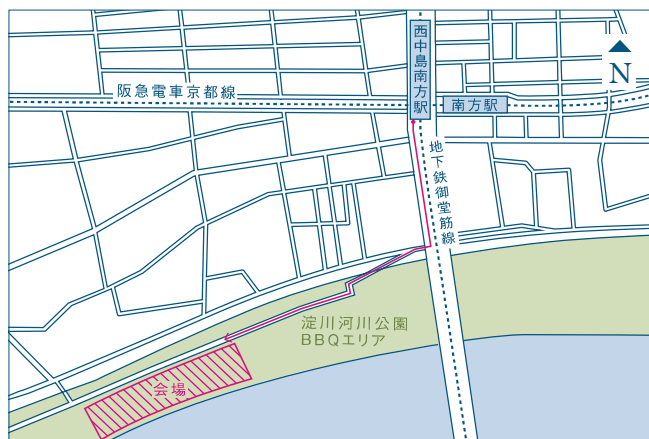
淀川の新たな魅力を体感できる淀川アーバンキャンプ2017のコア期間イベント。飲食や物販の他、さまざまな体験プログラムやアクティビティを楽しむ5日間です。

※詳細 Coming Soon

2017年9月30日(土) - 10月1日(日)

10月7日(土) - 10月9日(月・祝)

場所：淀川河川公園 西中島エリアおよびその周辺



ACCESS

地下鉄御堂筋線「西中島南方駅」、
阪急電車京都線「南方駅」より
南へ徒歩7分

○会場へは公共交通機関をご利用ください。近隣の駐輪・駐車場には台数に限りがあります。○会場内で発生したゴミはお持ち帰りください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。○写真は、実際の会場と異なる場合があります。

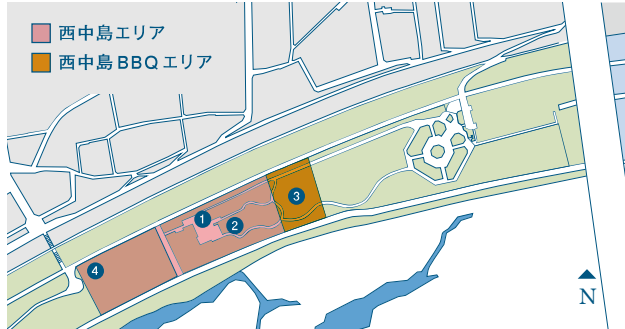
[主催] 国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所・大阪商工会議所
[お問合せ] 淀川河川公園管理センター
〒570-0096 大阪府守口市外島町7-6
TEL: 06-6994-0006 (9:00~17:00)

AREA MAP

- ① パフォーマンスと楽しむ
ナイトジンギスカン
- ② foodscape!
River side Beer FESTIVAL
- ③ 手ぶら BBQ
- ④ Happy Outdoor Wedding

⑤ osaka botel (オオサカボートル)

※実施場所はプログラム詳細をご確認ください。



2 foodscape! River side Beer FESTIVAL

foodscape! のこだわりのコーヒーやパンの販売のほか、BBQと一緒に楽しめるビールなどのドリンクの販売、夏にぴったりのスイーツの販売などを予定しています。

場所：西中島エリア
 期間：8月11日(金・祝)～10月末(予定)
 企画・運営：株式会社エルワールド
 HP: <http://food-scape.com/>
 問い合わせ: info@food-scape.com



1 パフォーマンスと楽しむ ナイトジンギスカン

都心の暑さを忘れるべく、河風を感じながら開放的な雰囲気とともに楽しめるナイトジンギスカンを展開予定。また、野外で飲食とともに楽しめるパフォーマンス(演劇など)を実施し、今までの淀川にはなかった新たな魅力をプラスします。

場所：西中島エリア
 期間：8月11日(金・祝)～10月末(予定)
 ※劇団コープス 20th 記念イベント「ひつじ祭り」 presented by TACT/FESTは2017年8月19日(土)、20日(日) 17:00～20:00(予定)
 企画・運営：有限会社 PHI
 HP: TACT/FEST <http://www.tact-japan.net>
 問い合わせ：06-6624-9117 (担当:さくら)



3 手ぶら BBQ

梅田を眺める淀川の水辺で手軽におしゃれに BBQ を楽しんでもらえる、手ぶら BBQ サイトを運営します。お好きな食材を持ち込み、BBQ 機材やタープの準備されたエリアで、気軽にスマートに BBQ をお楽しみ下さい。また、土日祝限定で機材レンタルサイトを OPEN! コンロやテーブル、チェアなどを当日レンタルしていただけます。

場所：西中島 BBQ エリア
 期間：8月19日(土)～10月末
 手ぶら BBQ サイト 10:00～17:00
 機材レンタルサイト 期間中の土日祝限定 9:00～16:00
 企画・運営：株式会社スタンドケイ
 HP: <https://www.bbq-big.com>
 問い合わせ：激安 BBQ レンタルのバーベキュービッグ
info@bbq-big.com / 080-4123-2929



©Happy Outdoor Wedding / photo: Chiaki Toyozum・Sayaka Hikida

4 Happy Outdoor Wedding

梅田を眺める淀川の水辺で Outdoor Wedding をプロデュースします。関東を中心に地域資源を活かしたウエディングをサポート、プロデュースしてきた H.O.W が、淀川オリジナルの Public Wedding Kit を用いた淀川での Public Wedding の企画、受け入れ、開催サポートを行います。

場所：西中島エリア又は十三エリア
 期間：8月下旬～9月(予定)
 企画・運営：たらくさ株式会社
 HP: <http://happy-outdoor-wedding.com/>
 問い合わせ: happyoutdoorwedding@gmail.com

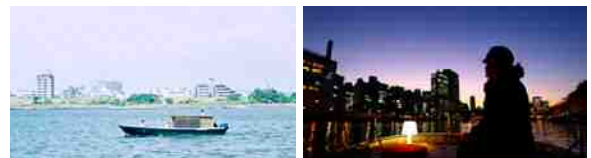


photo: ogura yuji

5 osaka botel (オオサカボートル)

「川に浮かぶ小さなうち」をコンセプトとした小型遊覧船「御舟かもめ」による osaka botel。夜から日の出までの特別な時間帯を遊覧し大阪都心や淀川の知られざる風景を訪ねます。八軒家浜船着場を発着地に大阪市内の道頓堀、ドーム前千代崎、大正、中之島などを遊覧し、日出前に毛馬開門を通り、淀川の大自然で日出を迎えます。水の回廊と淀川を満喫できるクルーズです。

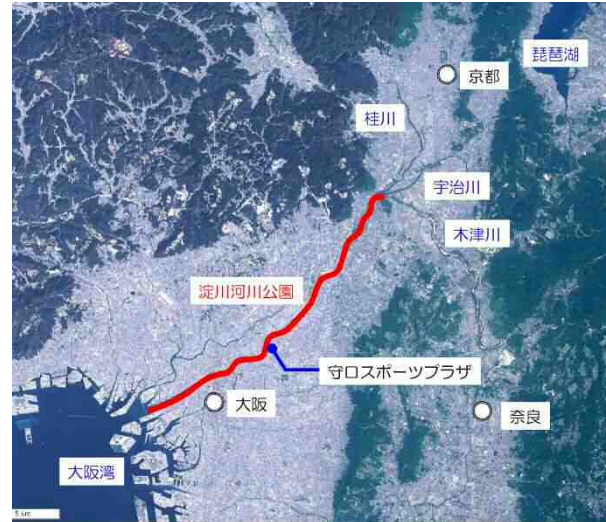
場所：淀川及び水の回廊(八軒家浜船着場発着)
 期間：8月12日(土) 20:30～8月13日(日) 7:30
 8月26日(土) 20:30～8月27日(日) 7:30
 企画・運営：御舟かもめ
 HP: <http://www.ofune-camome.net/>
 問い合わせ: booking@ofune-camome.net

【参考資料】

1. 淀川河川公園について

淀川河川公園は、大阪湾の淀川河口部（大阪府）から桂川、宇治川、木津川が合流する三川合流域（京都府）までの延長約37kmの両岸の河川敷に位置する国営公園です。

本公園は、昭和39年の東京オリンピック開催を契機としたスポーツ振興が図られる中、都市の過密化によるオープンスペースの不足も相まって、昭和46年の淀川水系工事実施基本計画の改定に伴って生み出される高水敷を、近畿圏の人々に豊かな自然環境と空間を提供することを目的に整備を開始しました。



淀川河川公園と守ロススポーツプラザ

年間を通して、淀川が有する豊かな自然環境の保全・再生に係るボランティア活動や自然体験プログラム、市民の健康増進のためのマラソンや野球大会といったスポーツレクリエーション開催事など、淀川河川公園を利用圏域とする府県の人口約1,250万人に対して、貴重な水と緑のオープンスペースを提供しています。



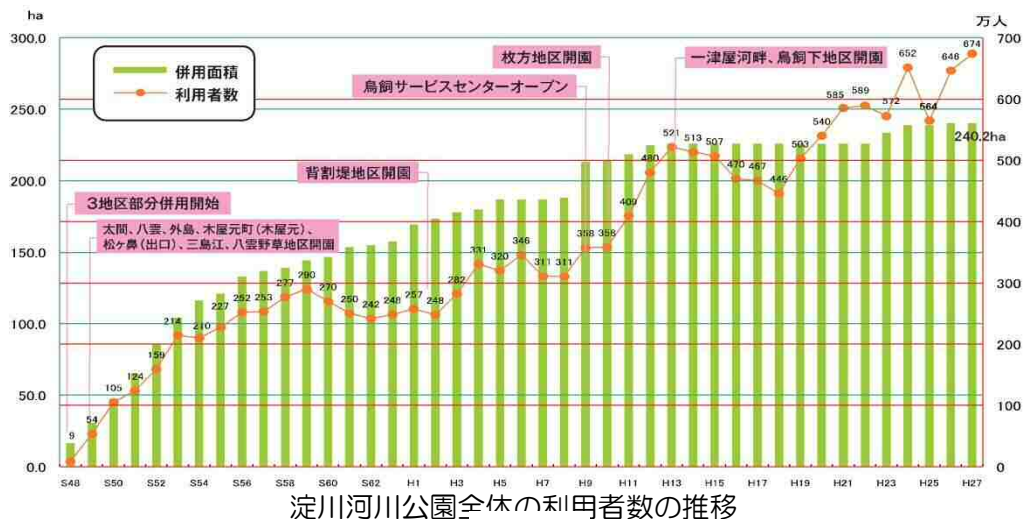
公園の様子



BBQ



地域連携



II. 公園の理念・目標

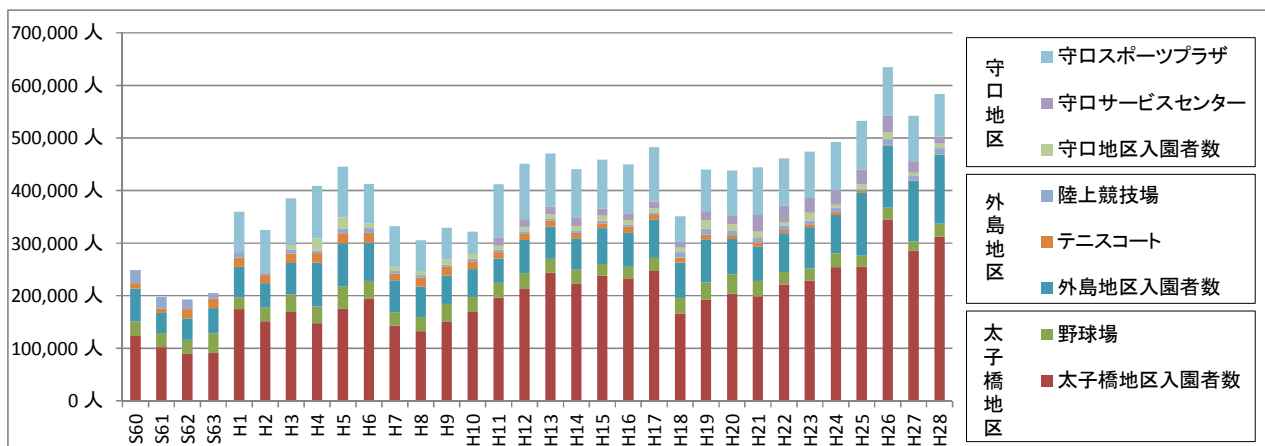
(1) 淀川河川公園全体の基本方針

- ① 河川は人を含むすべての生物にとって共有の財産であり、淀川における自然環境や歴史・文化、人との関わりを大切にしたい公園にします。
- ② 淀川の自然環境や淀川と人との関わりを次世代に引き継ぎます。
- ③ 多様な主体の参加と連携のもと、全ての生物が共存できる健全かつ秩序ある利用を促し、淀川流域とその周辺の人々が将来にわたって自然とふれあえる公園にします。

(2) 太子橋地区・外島地区・守口地区について

守口スポーツプラザのある「守口地区」は、淀川の下流域にある公園です。

河川敷にある「太子橋地区」「守口地区」と合わせて年間50万人前後の利用者数があるほか、近隣には病院や高等学校、保育施設等の医療・文教施設が充実しています。



守口地区・外島地区・太子橋地区の利用者数の推移

(3) 健康・文化・自然・防災のニーズに対応するために重点的に取り組んでいること

①歴史文化・水辺の体験プログラムの提供

- 淀川を知ることは、関西の水の歴史を知る事であり、沿川の各所には淀川の昔を物語る歴史資源が今もなお数多く残っています。
- 春や秋の行楽シーズンには舟運事業と連携した散策ツアーや、気軽に楽しめるカヌー・ボート体験を通して淀川の歴史文化と水辺の学習プログラムを提供します。
- さらに、淀川をフィールドに活躍する様々な地域の活動団体とのネットワークを広げ、淀川だからこそ体験できる水と緑にふれあえる機会を創出します。



水辺の体験学習



歴史散策ツアー



サップ体験

サップとは

スタンドアップパドルサーフィンとも言われサーフボードより大きめのボードに立ちパドルで漕いで海や川と場所を選ばず遊べるウォータースポーツ。

②ワンランク上の都市型アウトドアの創出

- 大阪市淀川区に位置する西中島地区と十三野草地区は、対岸に大阪最大の都心である梅田の市街地が広がっており、夕暮れや夜景を楽しめるスポットです。
- この都心に近接した水辺空間の魅力を引き立てる新しい公園づくりのため、民間事業者からの創意工夫ある事業提案を公募型で受付ける「淀川アーバンキャンプ」を大阪商工会議所等と連携して継続的に実施します。
- また、駅近傍の立地特性を活かして、ファミリー世代と仲の良い仲間達でマナー良く楽しめるようバーベキュー有料化事業を行い、近畿一円の市民の方々に、水と緑でいっぱいの淀川を好きになっていただきます。あわせて有料化事業の継続実施によるバーベキュー利用の適正化を図ります。



アーバンキャンプ



夜の淀川をおしゃれに演出

出典：淀川河川公園整備・管理運営プログラム H.29.3

③ 国営公園からの健康づくりプログラム

- 高齢化社会が進む中で健康づくりの気運が高まっていることから、一層淀川河川公園を活用して、健康づくりと体力向上に励んでいただける公園プログラムを実施します。具体的には、ハンディキャップをお持ちの方もそうでない方も一緒にマラソンやレクリエーションを楽しめる「ふれあいマラソン」や、「スロージョギング」、「ノルディックウォーク」などのプログラムを提供します。
- 他の公園利用や自然環境との調和を図りつつ、近年利用の多いサイクリングやグラウンドゴルフをはじめ様々なスポーツ利用の場を提供します。



ふれあいマラソン



スロージョギング

④ 淀川を満喫する緑の空間演出とその利活用

- 河川に咲く野の花や植栽花木を活かした風景づくり、背割堤の桜並木の健全育成、季節を彩る草花で公園の四季を演出し、来園者の目を楽ませる緑の空間を作ります。
- この緑の空間を使って、マルシェや野草観察会等の自然体験プログラムなど、地域の様々な活動主体とともに利活用していきます。
- これまで利用中心の広場機能を維持する草刈りを行っていましたが、河川の自然生態系に配慮する草刈りを行うため、年間の刈込回数を入り口ごとに増減させる回数調整を行います。



背割堤の桜並木



花嫁景

⑤ 快適性と安全性を目指した質の高いサービス提供

- 公園の利用向上を高めるため、日常的に公園施設の点検を行うとともに、長寿命化計画を実態に即した形で適宜改訂しながら、老朽化したトイレ等の便益施設の更新を行います。
- 地元自治体等と連携した防災訓練を行い、治水上の安全性の意識啓発を図ります。



施設点検



水防訓練

出典：淀川河川公園整備・管理運営プログラム H.29.3